

県民割、ブロック割で 県との連携強化を図る

兵庫県旅行業協会

区のアリエンタルホテルで2022年度定時総会を開いた。3年ぶりのリアル総会には40人が出席。久しぶりの会合で、コロナ禍からの復活へ氣勢を上げた。

一般社団法人兵庫県旅行業協会（山口嘉幸会長）は5月26日、神戸市中央

の役に立ちたい」と強調
21年度事業報告・収支



3年ぶりのリアル総会を歓迎し、あいさつする山口会長

決算、22年度事業計画案は特になし」との回答。1ピスの総会も行われ、収支予算案はいずれも承認・可決。22年度は勉強会や研修旅行を行う。これに対し、会員は「旅行業は旅行業法を守って経費もかけているのに、旅行業以外の会社はなにをしてもいいのかわからない」と感じ、HATAが受け皿となるため6月には第3種旅行業登録、その先に第2種登録も見据えていることも説明した。

また、年会費について「今年度の減額措置はないと決まったが、県の協会の会費分は今年も全額免除する方針。山口会長は「旅行業界の長年の課題。厳しい取り締まりを行ってほしい」とも要望している。総会前には協力会である、会員から「旅行業以外の会社が旅行業を行つこと」について意見交換も行った。山口会長は「久しぶりの開催で皆さん熱心に商談されていた。活気があり、やはり顔を合わせて話してこたところ」警察庁との調査事項のため取り締まり社長は「みずほトラベルサ

携を図り、会員の皆さん

21年度事業報告・収支